

「化粧品の機能創製・処方・素材開発・解析評価技術と美容理論」

■定価：本体 49,000 円（税別） ■B5・313頁 ■発行：2022年2月21日 ■ISBN978-4-907837-28-0 C3058

■申込先：技術教育出版社 〒166-0015 東京都杉並区成田東 3-3-14 ニックハイビル 106 Tel / 03 (5913) 8548 Fax / 03 (5913) 8549

■構成と内容

皮膚科学に関しては、乾燥肌の詳細と保湿、色素斑の存在位置や色素沈着と真皮線維芽細胞、カルボニルタンパクの真皮線維形成への影響など細胞レベルでの挙動の他、口唇の加齢変化の実態など多角的な視点から取り上げられています。またこうした知見から導かれる有効成分の開発、化粧剤と皮膚との相互作用、有効成分や製剤の有効性定量評価法の開発など実践で役立つ手法が示されています。処方技術に関しては、両親媒性分子の自己組織性を利用した α ゲル製剤のスキンケア、ヘアケアへの応用、自発性ベシクルの皮膚浸透性の他、自分だけの化粧品を作る喜びを提供する新しい提案など開発研究者ならではの内容が示されています。また、これまでの技術書ではほとんど取り上げられてこなかった、質感、触感センシング、印象認知、香りの構成要素分析など感性工学的アプローチによる解析やデータサイエンス・デジタル技術と化粧品開発という事例が網羅されています。本書で取り上げたいずれのテーマも、産学の最前線で活躍中の研究者の執筆によるもので、ユニークで実践的な書籍となっています。

■目次

- 第1章 質感を中心にした肌の知覚・認知に関する基礎知見
- 第2章 数理統計手法を用いた皮膚内部物性推定法の構築
- 第3章 肌質感に影響を及ぼす肌色、色素沈着と加齢変化
- 第4章 化粧品開発のための最新触覚センシング
- 第5章 若々しい顔の印象認知構造
- 第6章 乾燥肌の詳細と皮膚保湿ケアへの提案
- 第7章 化粧剤と皮膚角層相互作用の解析
- 第8章 色素斑はなぜそこにあるのか？
- 第9章 メラノソーム貪食における表皮細胞の状態
- 第10章 色素斑の維持における真皮線維芽細胞の役割とその改善策
- 第11章 UVによる色素沈着における皮膚常在細胞間の相互作用に対するオオヤマザクラ果実エキスの効果
- 第12章 皮膚老化と弾性線維—弾性線維構造の変化とEMLIN-1
- 第13章 コラーゲン受容体 Endo180 の減少が光老化に及ぼす作用とその改善アプローチ
- 第14章 抗シワ医薬部外品の開発
- 第15章 真皮のカルボニルタンパク質が真皮線維形成に及ぼす作用
- 第16章 近赤外線防御技術の研究開発
- 第17章 スクリーン剤の紫外線防御能 in vitro 評価に与える影響の定量的解析ならびに新規評価法の開発
- 第18章 美しい髪への質感制御
- 第19章 毛髪の内部で作用する整髪技術の開発
- 第20章 ブリーチ処理したくせ毛における形状変化のメカニズム解明と抑制技術
- 第21章 Do-It-Yourself 化粧品：自分だけの化粧品をつくるよろこび
- 第22章 α ゲル調製とヘアコンディショナー製剤への応用—さらなる使用感向上へ
- 第23章 両親媒性美白有効成分(TXC)を用いた α ゲル製剤と美白化粧品の開発
- 第24章 保湿性と触感に優れたスキンケア洗浄剤の開発
- 第25章 難溶性ポリフェノールの機能向上のための処方最適化技術
- 第26章 素肌感と隠蔽力を両立した多色ファンデーションの開発
- 第27章 口唇の加齢変化実態
- 第28章 毛髪をしっかりセット・長時間維持できるヘアワックスの技術開発
- 第29章 非イオン界面活性剤を用いた高い皮膚浸透性を有する自発性ベシクル形成系の開発
- 第30章 香りの構成要素分析～CID-MS法によるモノテルペン異性体のリアルタイム識別～

注文書＝注文書をいただいた後、本を送料小社負担で請求書とともにお送りします。お振込みは、当社より、請求書が届いた後にお手続きをお願いいたします。振込み手数料はご負担下さい。

お申し込み：03-5913-8549

書名	化粧品の機能創製・処方・素材開発・解析評価技術と美容理論： 冊：お支払予定日： 年 月 日
社名	
所属	
氏名（ふりがな）	
住所	〒
「FAX」	「TEL」
「e-mail」	

ここにご記入いただいた個人情報は、お客様との契約の履行・管理、関連書籍・セミナーのご案内以外に利用することはありません。